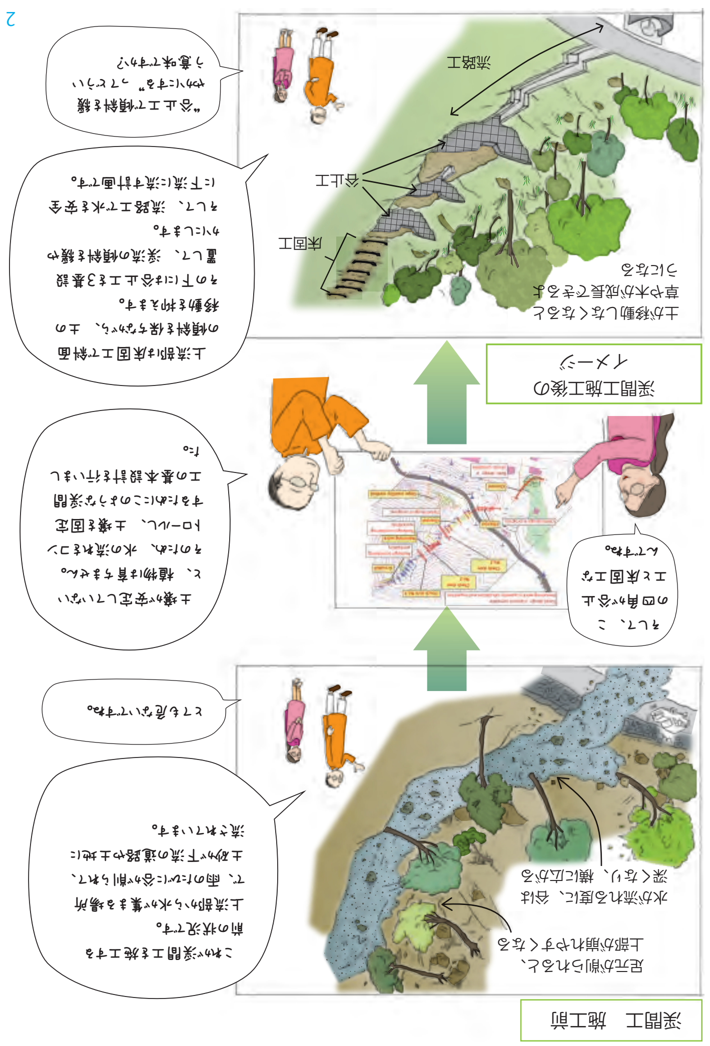
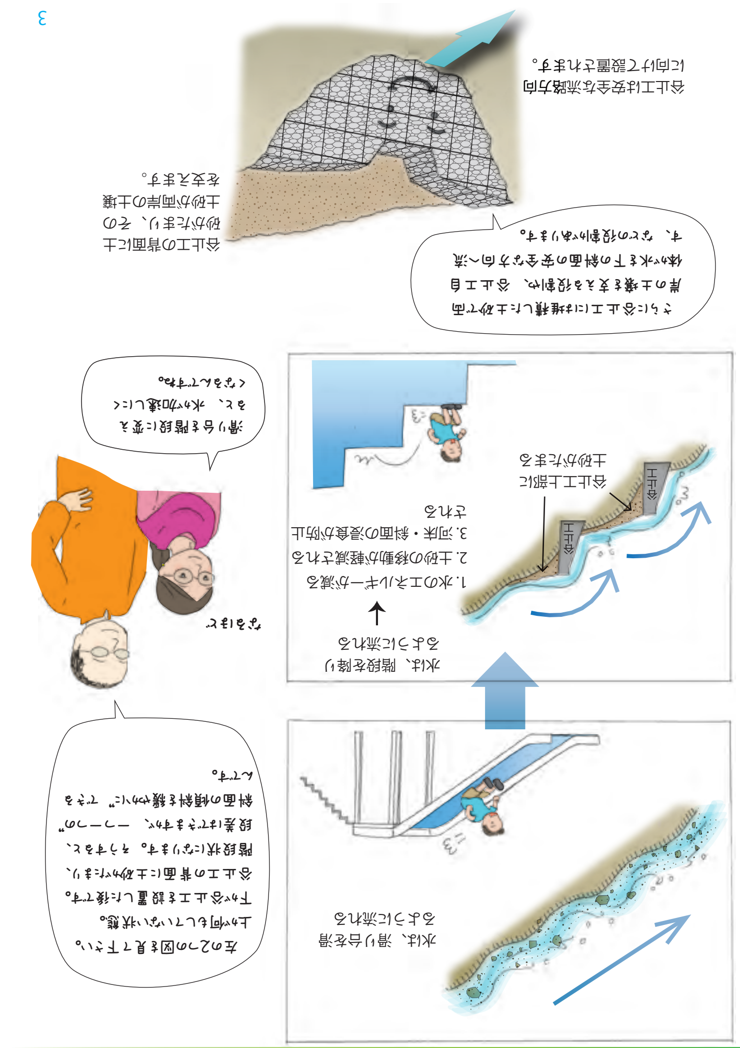
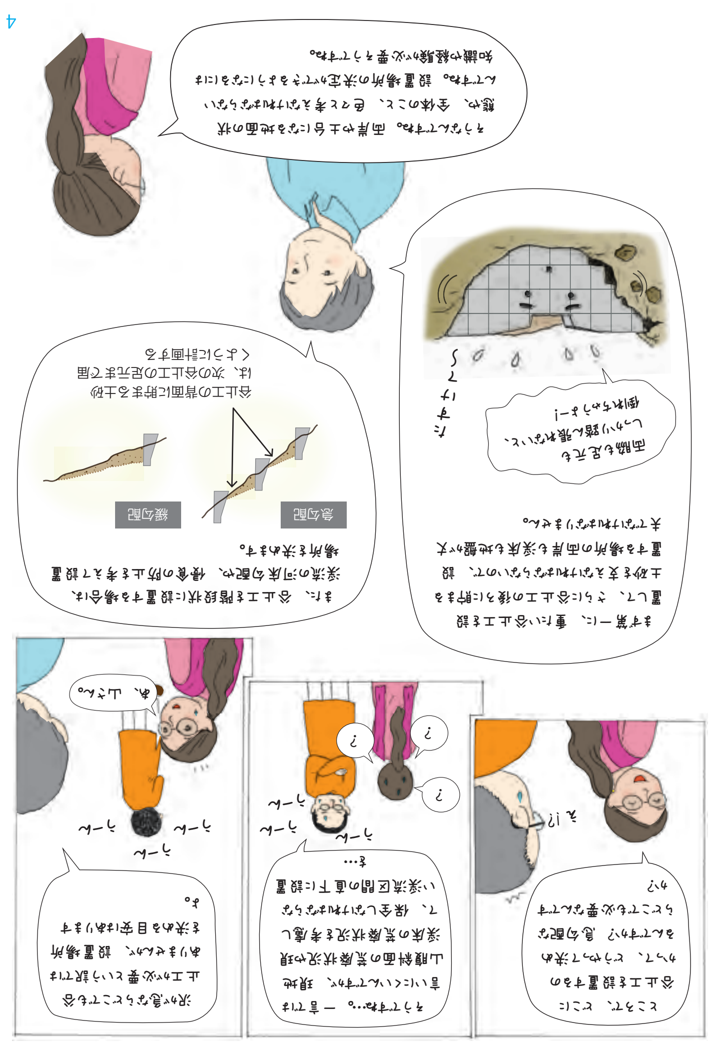


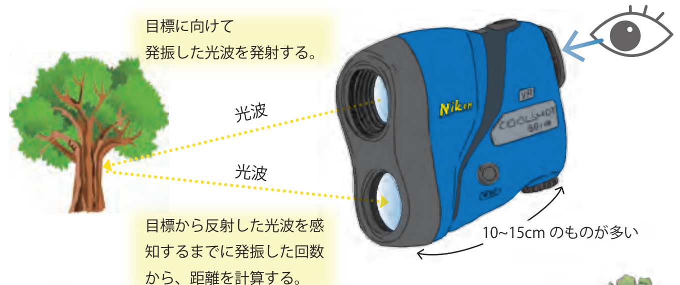




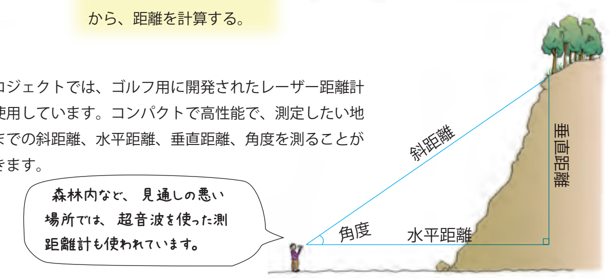
4. 渓間工（谷止工のはたらき）

調査の道具紹介 レーザー距離計

レーザー距離計は、光波測距儀の仲間で、光波を発射し、反射して戻ってくる光波を感知して距離を測る道具です。測量に使われるトータルステーションや、数十 km 先まで測れる軍用のもの、衛星に搭載されているもの等、機能や性能によって様々な使われ方をしています。治山の調査では、高性能で大きなものよりも、コンパクトな携帯サイズのレーザー距離計が活躍します。短距離であれば、広い距離や凹凸のある地形、険しい斜面など、巻き尺では測定するのが難しい場所でも、レーザー距離計を使うことで、簡易におおよその測定を行うことができます。



プロジェクトでは、ゴルフ用に開発されたレーザー距離計を使用しています。コンパクトで高性能で、測定したい地点までの斜距離、水平距離、垂直距離、角度を測ることができます。



3. 情報共有と説明責任

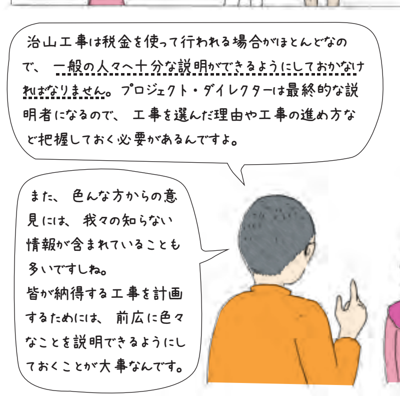
治山工事が始まるずいぶん前から、調査、設計の後で担当者による情報共有のための会議が行われています。
今回のプレゼンテーションはサイトの詳細調査までが一通り終わった後の、**基本設計**についてです。

ヒマラヤで山の復旧やっています - JICA の技術協力でインド山岳地帯の森林保全 -

© ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト

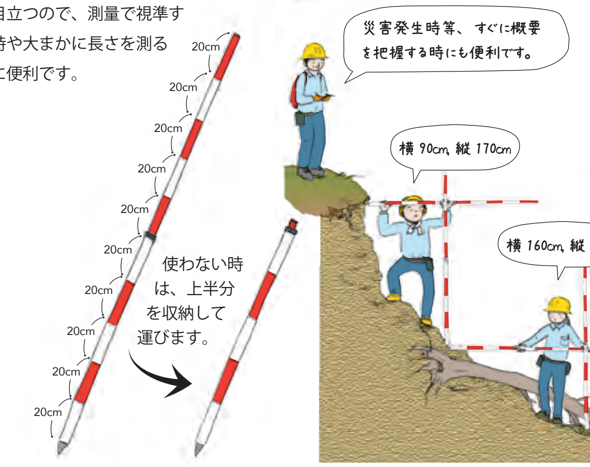
3. 情報共有と説明責任

プロジェクトでは、こうして出来上がった基本設計を、さらにプロジェクト・ダイレクターに説明します。



＊アカウンタビリティ（説明責任）
組織が一般の人々に活動の予定や内容、結果などを報告する責任。

3. 情報共有と説明責任

調査の道具紹介 紅白ポール

紅白ポールは、日本の現場でよく使われるポールです。素材は木製、アルミ製、樹脂製等様々ですが、基本的に長さは 2m で、赤白の色が 20cm 間隔で塗られています。遠くや森林内でも赤白の色差がよく目立つので、測量で視準する時や大まかに長さを測る時に便利です。